

資料5

家畜改良増殖目標畜種別研究会 馬補足説明資料

令和元年10月
農林水産省生産局畜産部畜産振興課

1. 馬の主な区分(品種・体型・用途・産地)

前回提出



軽種馬

体型による区分

- ・品種: サラブレッド、アラブ、アングロアラブ、サラブレッド系種、アラブ系種
- ・血統登録機関: (公財)ジャパン・スタッドブック・インターナショナル
- ・主に競走用。

農用馬(重種馬)



- ・品種: ブルトン種、ペルシュロン種、日本鞍系種など
- ・ばんえい競走、食肉用、祭事に用いられる。

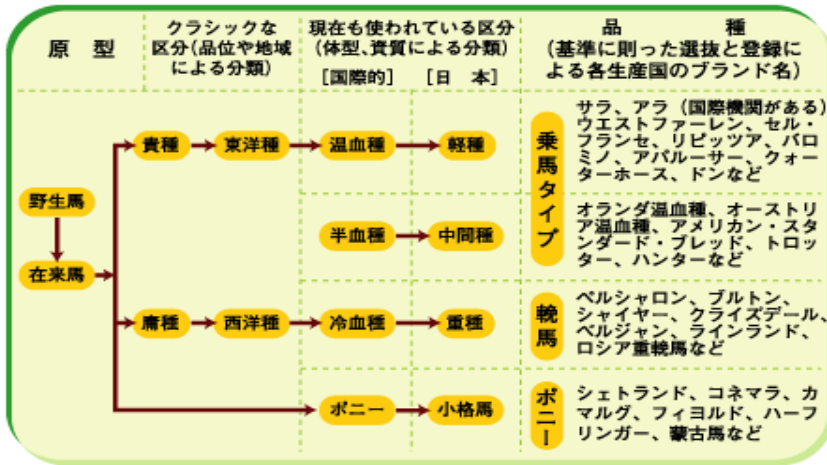
小格馬(ポニー)



- ・体高 148cm以下の馬の総称

※ 軽種馬以外の血統登録機関:
(公社)日本馬事協会

品種の成立経過



品種としての未固定の集団:
○○温血種、○○馬、○○重鞍馬などと呼んでいる。

半血種: 本来は温血種と冷血種の交雑を指すが、最近では品種間交雑を意味している。

【参考】中央畜産会HP
(畜産ZOO館)

用途による区分

乗用馬

- ・あらゆる品種



肥育用馬

- ・ブルトン、ペルシュロン、日本日本鞍系種など



産地による区分

日本在来馬

- ・8品種



1. 馬の主な区分(品種・体型・用途・産地)

修正案

軽種馬



- ### 体型による区分
- ・品種: サラブレッド、アラブ、アングロアラブ、サラブレッド系種、アラブ系種
 - ・血統登録機関: (公財)ジャパン・スタッドブック・インターナショナル
 - ・主に競走用。

重種馬



- ・品種: ブルトン種、ペルシュロン種、日本輓系種など
- ・ばんえい競走、食肉用、祭事などに用いられる。

小格馬(ポニー)



- ・体高 148cm以下の馬の総称

※ 軽種馬以外の血統登録機関: (公社)日本馬事協会

追加

用途による区分

競走用馬

- ・サラブレッド(中央、地方)
- ・日本輓系種など(ばんえい)



乗用馬

- ・あらゆる品種

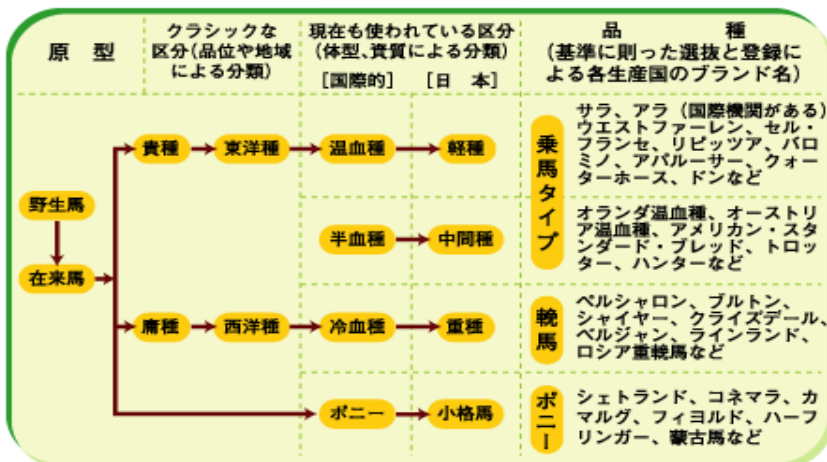


肥育用馬

- ・ブルトン、ペルシュロン、日本日本輓系種など



品種の成立経過



品種としての未固定の集団: ○○温血種、○○馬、○○重種馬などと呼んでいる。

半血種: 本来は温血種と冷血種の交雑を指すが、最近は品種間交雑を意味している。

【参考】中央畜産会HP (畜産ZOO館)

産地による区分

日本在来馬

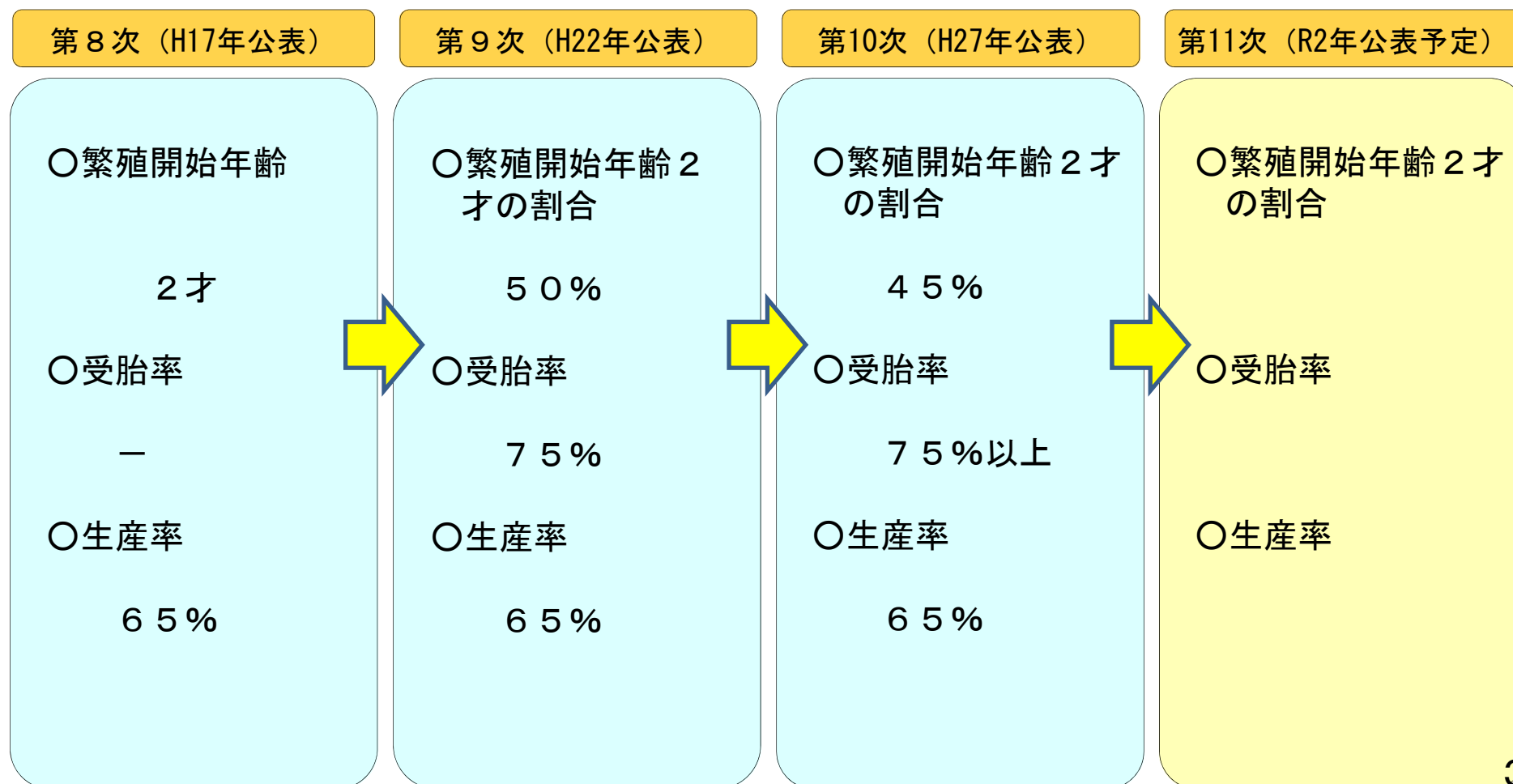
・8品種

- ・北海道和種馬
- ・野間馬
- ・御崎馬
- ・宮古馬
- ・木曾馬
- ・対州馬
- ・トカラ馬
- ・与那国馬



馬の改良増殖目標における数値目標

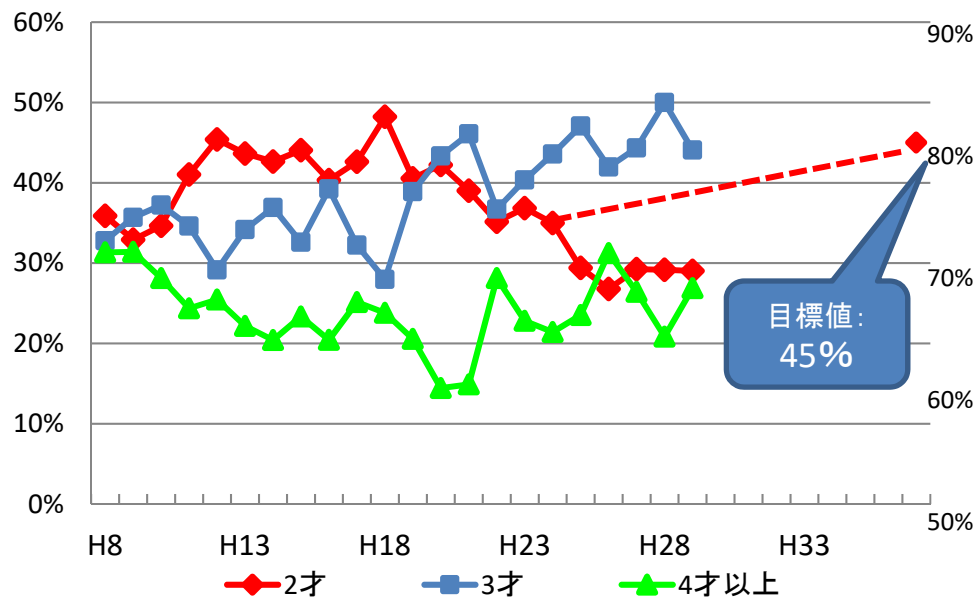
- 重種馬においては、ばんえい競馬の能力検定を2歳馬の時点で受け、雌馬の早熟性に着眼した選抜の実施は困難であることから、繁殖開始年齢の数値目標を除外してはどうか。
- 受胎率、生産率ともに増減を繰り返して推移している実態を踏まえ、これまでと同じ数値目標でよいか検討する必要。



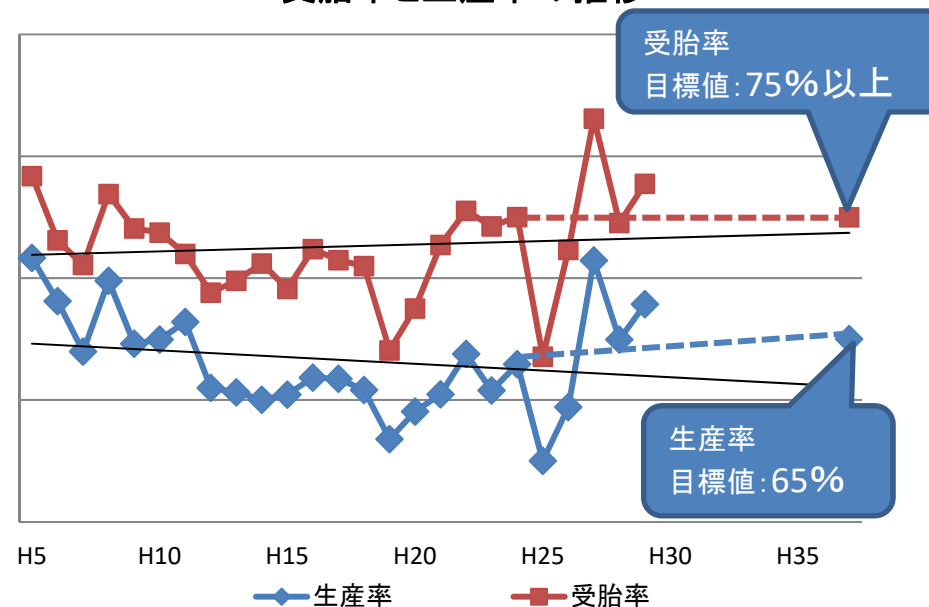
(2) 現行の目標（第10次家畜改良増殖目標）に対する進捗状況

- 初回種付け年齢割合のうち2才種付けの割合は、近年30%程度で推移。
- 受胎率、生産率ともに増減を繰り返している。また、近年は流死産率が高まっている傾向にあり、受胎率と生産率の乖離が大きくなっている。

初回種付け年齢割合の推移



受胎率と生産率の推移



流死産率の推移

種付け年	H5	H10	H15	H20	H25	H26	H27	H28	H29
流死産率	7.7%	11.2%	7.2%	11.4%	12.2%	20.0%	15.4%	13.1%	11.7%

受胎率及び生産率の数値目標について(第11次家畜改良増殖目標)

現状の受胎率(78%)及び生産率(68%)については、第10次目標値をそれぞれ上回っているものの、生産者の高齢化の進展や凍結精液の普及等を考えると、現状の目標を維持することによいか。

